



森永製菓株式会社第15回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド) 第2回レポート

2022年12月8日発行のサステナビリティボンドについて、以下の通り報告いたします。

1. 資金充当状況レポート(2024年11月末)

プロジェクト名	調達金額(百万円) ¹	充当金額(百万円) (内、リファイナンス概算額)	未充当金額(百万円) (充当予定時期)
森永芝浦ビル ² の 建替え費用	8,945	8,945 ³ (0)	0

森永芝浦ビルの建替えについて

当社グループは、2021年、持続的な成長を目指すべく新たな企業理念を策定しました。また、企業理念で掲げたパーパスを実現するためのありたい姿として2030ビジョンを定め、「心の健康」「体の健康」「環境の健康」という3つの提供価値を、「顧客」「従業員」「社会」という3つのステークホルダーに提供し続け、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する「ウェルネスカンパニーへ生まれ変わる」と宣言しました。

こうした中、「森永製菓芝浦ビル」(1972年に竣工)は築後50年が経過し、老朽化やオフィスとしての機能が低下していたため、当ビルを建て替え、本社機能を「森永プラザビル」から移転することにいたしました。2024年3月に建て替え工事が完了し、同月より稼働を開始しております。

「森永芝浦ビル」は、「ZEB Ready」の認定を受けた省エネ設計を採用しています。エネルギー効率を最大限に高めることを目指すこの設計は、当ビルの特長の一つです。さらに、当ビルは雨水を利用する設計を取り入れ、水資源の有効利用を図り、環境負荷の軽減に努めています。また、エネルギー供給において、通常使用するエネルギーは電力のみで、その供給源として再エネ由来電力プランを導入し、実質的なCO₂排出量をゼロに抑え、環境に配慮した設計を具現化しています。さらに、太陽光発電にも取り組んでいます。

また従業員が働きやすく、多様な人材の活躍を推進するため、バリアフリー設備や、ジェンダーフリーに利用できるSOGIトイレ、ダイバーシティを推進するための祈祷室や働く女性のためのエンゼルルームの設置、地域企業や地域住民のための災害発生時の避難場所を設けるなど、企業理念と2030ビジョンを体現するオフィスを志向してまいります。



¹ 差引手取概算額

² サステナビリティボンド発行時は「(仮称)森永製菓芝浦ビル」としておりましたが、今般名称が決定したため変更しております

³ 2024年6月に全額充当しました

2. インパクトレポーティング

【グリーンプロジェクト】

適格プロジェクト	レポーティング項目
グリーンビルディング／ 省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者認証の取得状況:「ZEB Ready」認証 ・ CO₂ 排出量削減量: 約 386 (t-CO₂) (理論値⁴) ※なお、森永芝浦ビルでは通常使用するエネルギーは電力のみで、その供給源として再エネ由来電力プランを導入しており、実質的な CO ₂ 排出量はゼロです。

【ソーシャルプロジェクト】

適格プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
災害発生時における避難場所の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域企業・住民を含む帰宅困難者の受入スペースの設置 ・ 防災用品の備蓄倉庫の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰宅困難者の受入スペースの設置 ・ 防災用備蓄倉庫の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰宅困難者の受入可能人数(186人) ・ 防災用備蓄倉庫の備蓄量(最低3日間分) 	自然災害に強い持続可能な社会の実現
ダイバーシティ推進のための各種施策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者・障がい者等の利便性を考慮したバリアフリー設備(スロープ、多目的トイレ)の設置 ・ ジェンダーマイノリティの人向けの SOGI トイレの設置 ・ 働く女性のためのエンゼルルームの設置 ・ 人材のダイバーシティを支えるための祈禱室の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー設備の設置 ・ ジェンダーマイノリティの人向けの設備の設置 ・ 働く女性のためのエンゼルルームの設置 ・ 人材のダイバーシティを支えるための祈禱室の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スロープ(各所に設置)、多目的トイレの設置数(7箇所) ・ SOGI トイレの設置数(3箇所) ・ エンゼルルームの設置数(1箇所) ・ 祈禱室の設置数(1箇所) 	バリアフリー、ジェンダーフリーの推進・多様性を尊重する共生社会の実現

以上

⁴ 森永芝浦ビルの実質的な CO₂ 排出量は 0 であるものの当該ビルの省エネ性能を示すため、環境省が公表する使用電力会社の調整後排出係数(令和6年)及び一次エネルギー消費量の基準値と設計値を使用して、CO₂ 排出量削減量を算定